

自分や家族の避難行動計画表 (防災タイムライン)を作ろう!

台風などの風水害は事前に予測ができるので、避難に備えて準備することができます。一人ひとりで、家族で、事前に避難行動計画を作成しておく、災害時に、混乱せずに行動することができます。

もしもの災害時に、逃げ遅れを防ぎ、命を守るために、避難行動計画表(防災タイムライン)を作成しておきましょう。

平常時の確認
ハザードマップ(P.44～)で、災害リスクを確認する。
浸水の深さ
土砂災害
あなたのとるべき避難行動判定フロー(P.12)で、災害時の避難行動とタイミングを確認する。
避難に時間がかかる方は、警戒レベル3「高齢者等避難」で行動。それ以外の方は、警戒レベル4「避難指示」で行動。在宅避難の場合は、家の中でより安全な場所を確認しておくこと。
避難する場所を確認し、避難所名を記載しておきましょう。(P.36～P.37枚方市の避難所)
避難所名
・避難ルートを確認する。 ・避難にかかる時間を確認する。
避難所までの所要時間
徒 歩 分
非常持ち出し品と備蓄品を確認する。(P.28非常持ち出し品と備蓄品)
非常持ち出し袋の置き場所は、家族で共有しておきましょう。

警戒レベル	レベル 1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
気象情報	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨・洪水注意報 はん濫注意情報	大雨・洪水警報 河川はん濫警戒情報	河川はん濫危険情報 土砂災害警戒情報	大雨特別警報 はん濫発生情報
避難情報			「高齢者等避難」	「避難指示」	「緊急安全確保」
行動のポイント	気象情報をこまめに確認しましょう。		枚方市の避難情報をこまめに確認しましょう。		命を守るための最善の行動をとりましょう。
	大雨を想定した準備をしましょう。		避難に時間がかかる人は避難を開始してください。	避難が必要な人は避難を開始してください。	
家族の行動					
記入例 ひこぼしくん	 ・非常持ち出し袋を準備 ・雨戸を閉める		 近所への呼びかけ	 避難開始	 避難完了!

注意!

防災タイムラインはあくまでも行動の目安です。災害は想定通りに来るとは限らないので、臨機応変に対応しましょう。

防災タイムラインの作り方

- ①自分の、家族一人ひとりの、それぞれが避難するタイミングを考えます。
- ②避難完了しておくべき時点で「避難完了」と記入します。
- ③避難が完了できるよう、それぞれが行動を開始すべき時点で「避難開始」を記入します。
- ④避難を開始する前の「準備開始」を記入します。たとえば、「非常持ち出し袋を準備」「常備薬を準備」など、準備物は、より具体的に書いておきましょう。
- ⑤避難時は地域で助け合うことも必要です。「近所への呼びかけ」なども書いておくといでしょう。